

---

# 目 次

はじめに

## I 部 ソーシャルワークの理論

### 第1章 ソーシャルワークの援助過程

① ソーシャルワーク実践の流れ…4

② 開始段階…4

ケースの発見とは 4 / ケースの発見の留意点 5 / アウトリーチとは 5 / アウトリーチの留意点 6 / インテークとは 6 / インテークの留意点 7 / ケースでとらえるインテーク 7 / アセスメントとは 9 / アセスメントに必要な情報 9 / アセスメントの枠組み 10 / ケースでとらえるアセスメント 11 / アセスメントのためのツール（道具） 12

③ 展開段階…13

プランニングとは 13 / ケースでとらえるプランニング 14 / プランニングの留意点 14 / 支援の実施とは 15 / 支援の実施の留意点 15 / モニタリングとは 16 / ケースでとらえるモニタリング 16

④ 終結段階…17

終結とは 17 / 事後評価とは 17 / アフターケアとは 18

### 第2章 ソーシャルワークにおける援助関係

① 援助関係の意義と概念…22

ソーシャルワーカーとクライアントシステムの関係 22 / 援助関係の意義：社会的孤立の防止のために 22 / ソーシャルワークにおける援助関係の定義、目的とソーシャルワーク過程 24

② 援助関係の形成方法…26

自己覚知と他者理解 26 / コミュニケーションと信頼関係（ラポール） 26 / 信頼関係を構築する援助関係の形成に必要な要素 27 / 原則1：クライアントを個人としてとらえる〔個別化〕 28 / 原則2：クライアントの感情表現を大切にす〔意図的な感情表出〕 28 / 原則3：援助者は自分の感情を自覚して吟味する〔統制された情緒関与〕 29 / 原則4：受けとめる〔受容〕 29 / 原則5：クライアントを一方的に非難しない〔非審判的態度〕 30 / 原則6：クライアントの自己決定を促して尊重する〔自己決定の原則〕 31 / 原則7：秘密を保持して信頼感を醸成する〔秘密保持〕 31 / 事例でみる援助関係を活用した支援 32

### ③ 面接技術…32

面接の意義, 方法, 留意点 32 / 面接の成立条件 (ソーシャルワーカーの基本的態度) 34 / 面接技法の取得 (マイクロ技法) 36 / 面接の場面と構造 38

## 第3章 ソーシャルワークの実践理論

### ① 実践理論の意義とソーシャルワーク概念との関連性…42

実践理論の意義 42 / ソーシャルワークの実践理論・実践モデル・アプローチ 42

### ② 人と環境との交互作用に関する理論…43

システム思考・理論 44 / 生態学的視点・エコロジカルモデル 46 / バイオ・サイコ・ソーシャル (BPS) モデル 49 / バイオ・サイコ・ソーシャル (BPS) モデルの実際 50

### ③ ソーシャルワークの実践モデル…52

治療モデル 52 / 生活モデル (ライフモデル) 52 / ストレングスモデル 53 / 各実践モデルによるアセスメントとプランニングの特徴と相違 54

## 第4章 ソーシャルワークにおける多様な実践アプローチ

### ① 多様な実践アプローチの理解の仕方…58

実践アプローチの多様性 58 / 実践アプローチをいかに学習するか 59 / 実践アプローチと実践モデルの関係 59

### ② 多様な実践アプローチ…61

心理社会的アプローチ 61 / 機能的アプローチ 62 / 問題解決アプローチ 64 / 課題中心アプローチ 65 / 危機介入アプローチ 66 / 行動変容アプローチ 68 / エンパワメントアプローチ 69 / ナラティヴアプローチ 70 / 解決志向アプローチ 72

## Ⅱ部 ソーシャルワークの方法

## 第5章 グループワーク

### ① グループワークとは…80

グループワークの定義と特徴 80 / グループワークの意義 80 / グループワークの原則 82

### ② グループワークの方法…83

グループワークの種類 83 / アセスメント 83 / プログラムの活用 85

### ③ グループワークの展開過程…86

準備期 86 / 開始期 89 / 作業期 90 / 終結・移行期 91

### ④ セルフヘルプグループ…92

セルフヘルプグループとは 92 / ヘルパー・セラピー原則と体験的知識 92 /

## 第6章 コミュニティワーク

### ① コミュニティワークの定義・意義と目的…98

アメリカにおけるコミュニティオーガニゼーション理論の発展 98 / アメリカ・イギリスから日本へ 99 / 生活困窮者支援から求められたコミュニティワーク 100 / 包括的支援体制整備から求められたコミュニティワーク 101 / 社会福祉士養成教育に求められたコミュニティワーク 101

### ② コミュニティワークの方法…102

コミュニティワークの射程 102 / コミュニティソーシャルワークとコミュニティワークの関係性 103 / コミュニティソーシャルワークとの関係性から見るコミュニティワークの独自性 104 / 個別課題の普遍化 105 / コミュニティワーカーの役割の複合性 106

### ③ コミュニティワークの展開過程…108

地域課題の発見 108 / 実施計画とモニタリング 109 / プログラム・資源の開発と評価, 実施計画の更新 109

## 第7章 ソーシャルアクション

### ① ソーシャルアクションの定義・意義と目的…114

### ② ソーシャルアクションの方法…115

どうやって社会を変えるのか 115 / 様々なソーシャルアクションの方法 115

### ③ ソーシャルアクションの展開過程…116

ソーシャルアクションのステップガイド 116 / 対話の機会づくり 117 / 関係構築・チーム構築 119 / 情報収集・分析・戦略づくり 119 / 組織メンバーの能力開発・学習・スキルアップ 122 / アクションの計画・実行・評価(効果の測定) 122

## 第8章 ネットワーキングとコーディネーション

### ① ネットワーキング…128

定義(ネットワークとネットワーキング) 128 / ネットワーキングの意義 128 / 利用者の社会ネットワーク 129 / ソーシャルワーカーが所属する組織・機関による組織間ネットワーク 133 / サービス提供組織のネットワーク, ネットワーキング 135 / ネットワーク, ネットワーキングの重層性 137

### ② ネットワーキングの方法と展開過程…138

ネットワーキングの方法 138 / ネットワーキングの展開過程 140

### ③ コーディネーション…141

コーディネーションとは何か 141 / ネットワーキングとコーディネーション 142 / コーディネーションの意義 143

④ コーディネーションの方法と展開過程…144

## 第9章 ソーシャルワーク・スーパービジョン

① スーパービジョンの定義・意義と目的…150

スーパービジョンとは 150 / スーパービジョンの意義 151 / スーパービジョンは日常の業務遂行に必要なもの 152 / ソーシャルワーク業務の中のスーパービジョンの位置づけ 153

② スーパービジョンの方法…155

スーパーバイザーとスーパーバイジーの関係性 155 / スーパーバイザーの職務 156 / スーパービジョンの方法論 157

③ スーパービジョンの形態…158

セルフスーパービジョン 158 / 個別スーパービジョン 158 / グループスーパービジョン 158 / ピアスーパービジョン 159 / ライブスーパービジョン 159 / ユニットスーパービジョン 159

④ スーパービジョンの展開過程（実際）…160

⑤ コンサルテーション…162

コンサルテーションとは 162 / コンサルテーションの関係 162 / コンサルテーションの種類 162 / コンサルテーションの展開過程（実際） 163

## 第10章 ケアマネジメント

① ケアマネジメントの定義・意義と目的…168

ケアマネジメントの沿革 168 / 日本におけるケアマネジメント 168 / ケアマネジメントの定義 169 / ケアマネジメントの意義と目的 170

② ケアマネジメントの視点…171

ケアマネジメントの構成要素 171 / 生活モデルとストレングス視点 172 / ICFとケアマネジメントの考え方 173 / ミクロからマクロレベルにわたる方法／機能 174

③ ケアマネジメントの展開過程…175

第1段階：相談（入口） 175 / 第2段階：アセスメント 176 / 第3段階：ケース目標の設定とサービス計画の作成 177 / 第4段階：サービス計画の実施 178 / 第5段階：モニタリング及びフォローアップ 178 / 第6段階：再アセスメント 178 / 第7段階：終結 179

④ ケアマネジメントの実際…179

サービス利用に向けた考え方 179 / 地域で支える 182

---

## 第11章 ソーシャルワークの記録

- ① 記録の意義と目的…186  
記録の意義 186 / 記録の目的 187
- ② 記録の方法と実際…188  
記録の文体 188 / SOAP ノート 190 / 項目式 191 / 図表式 193
- ③ ソーシャルワークにおける個人情報の保護…196  
意義と留意点 196 / IT 活用のあり方 196

## 第12章 カンファレンス

- ① カンファレンスの意義, 目的…200  
連携・協働・チームアプローチ実践の背景 200 / カンファレンスとは(定義・目的) 200 / カンファレンスの意義 201
- ② カンファレンスの運営と展開…203  
カンファレンスの構成要素 203 / カンファレンスの構成員 204 / カンファレンスの展開過程 206 / カンファレンス運営におけるコンフリクト 207
- ③ カンファレンスの実際…208  
事例: 医療機関における治療方針検討のための多職種連携カンファレンス 209 / 事例: 一人暮らしの認知症高齢者を支える地区社会福祉協議会との協働カンファレンス 210

## 第13章 事例分析・事例検討・事例研究

- ① 事例分析・事例検討・事例研究とは…214
- ② 事例分析…214  
事例分析の目的 214 / 事例分析の意義 215 / 事例分析の方法 216 / 事例分析の実際 217 / 事例分析での留意点 218
- ③ 事例検討の目的, 意義, 方法, 実際…218  
事例検討の目的と意義 218 / 事例検討の方法 219 / 事例検討の手順 219 / 事例検討での留意点 221
- ④ 事例研究の目的, 意義, 方法, 実際…221  
事例研究の目的と意義 221 / 事例研究における分析の視点 222 / 事例研究で使用する事例の選択・設定や分析手法 223 / 事例研究の手順 223 / 事例研究の留意点 224